

群山合宿の前に麗水・順天を訪ねました 飛田雄一 むくげ通信 270 号(2015.5.31)

むくげ韓国合宿、現地集合・現地解散のパターンが、だんだんと板についてきた。群山モーター集合の前に、私はむくげ会友の波戸雅幸さんと麗水に行った。古くからの友人で、韓国民主体運動に関わった牧師さんで、東京でも働かれたことがある金景南さんを訪ねたのである。金さんは、心臓の病気をされ長時間の外出に不安が残るとのこと、最近お会いする機会がなかったのだ。

麗水は、だいぶ以前、林オンギュさんの案内で釜山外国語大学の学生と智異山（天王峰）に登ったのちに訪ねたことがある。アナゴの刺身を注文したら5匹分ぐらいのぶつ切りの刺身がでてきてびっくりした記憶がある。

4月15日（水）、今回はLCCの済州航空で波戸さんと二人で仁川空港に着いた。さっそく空港でキムチチゲを食べたら美味しかったが波戸さんはその辛さにびっくり。

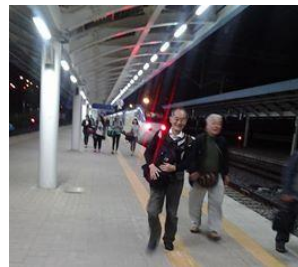


仁川からKTXで麗水向かう。麗水は全羅南道東部にある都市で、2012年に麗水国際博覧会（万国博覧会）が開かれたことでも知られる。人口は約30万人。麗水と言えば李舜臣将軍だが、1497年に全羅左道水軍節度使（全羅左水營）が設置され造船施設などもあった。文禄・慶長の役が始まる前年に李舜臣が当地の司令官として赴任し、亀甲船を建造して戦争に備えた。1599年に三道水軍統制師であった李時彦が建設した鎮南館は韓国最大の木造建築で国宝第304号に指定されている、とウイキにある。

仁川発麗水行、直行のKTKが一日1本ある。チケットは麗水の金景南さんがインターネットでとってくださった。登録番号と秘密番号をメールで送ってもらいその番号を窓口でいうとすぐにチケットが発券された。金さんがKTXの会員でそんなこ

とができるのだと思っていた。が、むくげメンバーグリストの東京メンバー・Mさんによると日本からでも、クレジットカードで入手可能とのことだ。後日ホームページを開いてみると日本語のホームページもあり簡単にできそうだった。こういうところは韓国の方が進んでいる。

仁川から約4時間の汽車の旅だ。桜もきれいだった。南に下るほど盛りは過ぎていく。



麗水駅につきました。もう酔っぱらっています？ 夜景です。

麗水駅には金さんと奥様の李祉永さんが迎えに来てくださった。駅には改札もなく、ホームまで来て下ってびっくりした。それから3日間、金さんご夫妻にほんとになにからなにまでお世話になった。初日は、魚料理をいただき大満足。突山公園から麗水の夜景を見てから金さんのマンションの別室に泊めていただいた。翌日、丸1日、麗水周辺のドライブだ。

まずは「椿が咲き乱れる奇岩絶景の観光名所」梧桐島。椿全盛の季節ではなかったが、「散策路や絶壁、灯台があって散策やデートにもぴったり」の散策路を波戸さんと歩いた。味気なかった。



梧桐島 ひよどりが歓迎してくれました

次は有名な鎮南館。豊臣秀吉による2度の朝鮮出兵の際、秀吉軍と戦った李舜臣将軍率いる水軍の大本営だった場所だ。国宝に指定されている立派な建

物だ。そして李舜臣將軍といえば亀甲船。観覧できるようにになっており、人形もカッコいい。イケメンもいる。



李舜臣將軍が睨みをきかせています 鎮南館 イケメン？

向日庵にも登った。新羅の善徳女王の時代に元暁大師が円通庵という名で建立したのが始まりと伝えられている。その後、豊臣秀吉の朝鮮出兵の際には僧侶たちが寺で応戦し、朝鮮時代の1715年に向日庵へ改名したとされている。初日の出の名所としても有名で、正月に「初日の出祭り」が開催され、3万人を超える観光客が集まるとのことだ。日本人も韓国人も初日の出が好きのようだ。韓国では、初日の出を新暦と旧暦と2回するのかな？



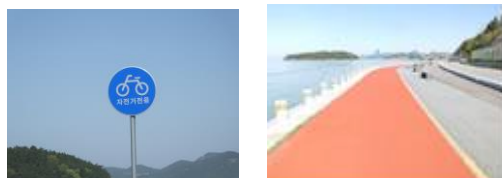
立派な岩戸波戸さん トイレの「男の涙」の話し（本文と関係がありません） 美味しいものをたくさんいただきました（金景南さん）

コーヒータイムに訪ねた喫茶店「風の丘」が最高だった。景色もとてつよい。部屋の雰囲気もとてつよい。



風の丘 コンサートもできる

3日目、途中で観光地を訪ねながら群山まで車で送ってくださるという。お言葉に甘えることにした。



途中、すてきな自転車専用道路もありました

ハイライトは、順天湾自然生態公園だ。広大な干潟があり、葦が茂っている。麗水が開發して近代化して發展したのに比べ順天は自然を残してそれが成功したと言われている。私もすばらしいと思う。シーズンには無数の渡り鳥が乱舞しているという。残念ながらシーズンオフだったが、散策して堪能した。



順天湾自然公園、ここでもおいしいものをたくさんいただきました



公園のシンボルはこの2匹 入口にモニュメントがあります

朝鮮史を勉強している人には麗水順天といえば、朴正熙も関係した1948年の事件だ。10月19日、済州島で起きた済州島四・三事件鎮圧のため出動した 国防警備隊第14連隊で、隊内の南労党員が反乱を扇動、これに隊員が呼応し部隊ぐるみの反乱となった。1週間後に鎮圧されたが、一部はその後北部の山中へ逃げ込み、長くゲリラ抵抗が続いた。摘発は過酷を極め、反乱部隊に加えて、非武装の民間人8千名が殺害されたといわれている。麗水でも順天でも金さんからこのあたりがその歴史の場所だということにも案内していただいた。



順天自然公園からの景色 そして、都会のカササギ

今回、何から何まで本当に金景南さんご夫妻にお世話になりました。ありがとうございました。



